

2026
5月

Okinawa Convention & Visitors Bureau

OCVB News



■ OCVBホームページ
<https://www.ocvb.or.jp/>

【観光客の皆様向け情報】
■ 沖縄観光情報WEBサイト おきなわ物語
<https://www.okinawastory.jp/>



①入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況 (26年4月～6月見通し)

	4月	5月	6月
※航空会社ヒアリングならびに沖縄県内発着便の提供座席数より推測			
国内空路			
海外空路			
※クルーズ客船の寄港予定より推測			
国内海路			
海外海路			

〈OCVB観光天気予報〉

- 対前年 105%以上水準
- 対前年 100%以上-105%未満
- 対前年 95%以上-100%未満
- 対前年 90%以上-95%未満
- 対前年 90%未満水準

		4月(予測)	5月(予測)	6月(予測)	4-6月計	
2026年度	空路	国内 663,000	621,000	629,000	1,913,000	
		海外 183,000	186,000	179,000	548,000	
	合計	846,000	807,000	808,000	2,461,000	
26年度	海路	国内 1,800	2,600	5,000	9,400	
		海外 69,000	26,000	73,000	168,000	
	合計	70,800	28,600	78,000	177,400	
空路海路合計		916,800	835,600	886,000	2,638,400	
国内合計		664,800	623,600	634,000	1,922,400	
海外合計		252,000	212,000	252,000	716,000	
前年度比	空路	国内 107.3%	105.6%	105.6%	106.2%	
		海外 108.7%	111.6%	105.4%	108.6%	
	合計	107.6%	106.9%	105.5%	106.7%	
	海路	国内 60.0%	20.5%	128.2%	48.0%	
		海外 73.9%	34.7%	105.2%	70.7%	
	合計	73.4%	32.6%	106.4%	68.9%	
	空路海路合計		103.9%	99.2%	105.6%	102.9%
	国内合計		107%	104%	106%	106%
	海外合計		96%	88%	105%	96%

■概況

国内入域：

- ・空路について、各社の提供座席数に増減があるものの、沖縄方面の需要は引き続き堅調に推移している。4月は宮古島・石垣島トライアスロンや沖縄国際文化祭等のイベントも開催され、需要が好調となった要因の一つとなった。
- ・GWは後半に連休が集中し日並び良い中で、各航空会社による前半の需要喚起策が奏功し、また羽田路線における臨時便の運航も予定されていることから、前年を上回る見込みである。
- ・6月については、一部の航空会社において増便が計画されていることから、前年を上回る需要で推移する見込みである。

海外入域：

- ・空路は中国を除く台北、韓国、香港など東アジアを中心に、需要が引き続き堅調に推移している。
- ・離島空港発着の国際線についても、復便や新規就航の動きが見られ、沖縄全体として今後も好調に推移すると予想できる。
- ・海路について、6月は基隆発を中心に寄港回数が増加し、前年を上回る見込みである。
- ・海路について、中国の渡航自粛要請の影響等により寄港回数が減少しており、4月、5月では入域者数が前年を下回る見込みである。

過年度実績については、沖縄県の入域観光客概況をご確認ください。

①入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況（26年4月～6月見通し）

4月

空路

(国内) 66.3万人 (25年4月対比 107.3%) と見込む。

(海外) 18.3万人 (25年4月対比 108.7%) となる見通し。

高雄＝那覇路線

チャイナエアライン：4月17日～ 週6便からデイリーへ増便（※便名別）

シンガポール＝那覇路線

スクート：4月2日～ 週3便から週4便（月水木日）へ増便

釜山＝下地島路線

(新)ジンエアー：4月2日～ 新規就航（週2便 木日）

海路

(国内) 1,800人 (25年4月対比 60.0%) の見通し。

(海外) 6.9万人 (25年4月対比 73.9%) となる見通し。

クルーズ船寄港本数：26本（25年4月：32本）

国内クルーズ：3本（東京・鹿児島発）

海外クルーズ：23本（台湾/基隆・香港・シンガポール・LA）石垣港・平良港のみ寄港7本。

5月

空路

(国内) 62.1万人 (25年5月対比 105.6%) と見込む。

(海外) 18.6万人 (25年5月対比 111.6%) となる見通し。

ドンムアンー香港ー那覇路線

タイ・エアアジア航空：5月7日～ 週7便から連休

海路

(国内) 2,600人 (25年5月対比 20.5%) となる見通し。

(海外) 2.6万人 (25年5月対比 34.7%) となる見通し。

クルーズ船寄港本数：13本（25年5月：28本）

国内クルーズ：2本（東京・横浜発）

海外クルーズ：11本（台湾/基隆・香港）石垣港・平良港のみ寄港は2本。

6月

空路

(国内) 62.9万人 (25年6月対比 105.6%) と見込む。

(海外) 17.9万人 (25年6月対比 105.4%) となる見通し。

海路

(国内) 5,000人 (25年6月対比 128.2%) となる見通し。

(海外) 7.3万人 (25年6月対比 105.2%) となる見通し。

クルーズ船寄港本数：22本（25年6月：32本）

国内クルーズ：3本（横浜・金沢・大阪発）

海外クルーズ：19本（台湾/基隆、高雄・香港・中国/上海・仁川）石垣港・平良港のみ寄港は5本。

(空路) 国内：県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、観光客の混在率をかけたもの

海外：海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定

(海路) 国内：乗船客数想定のうち日本国籍のもの

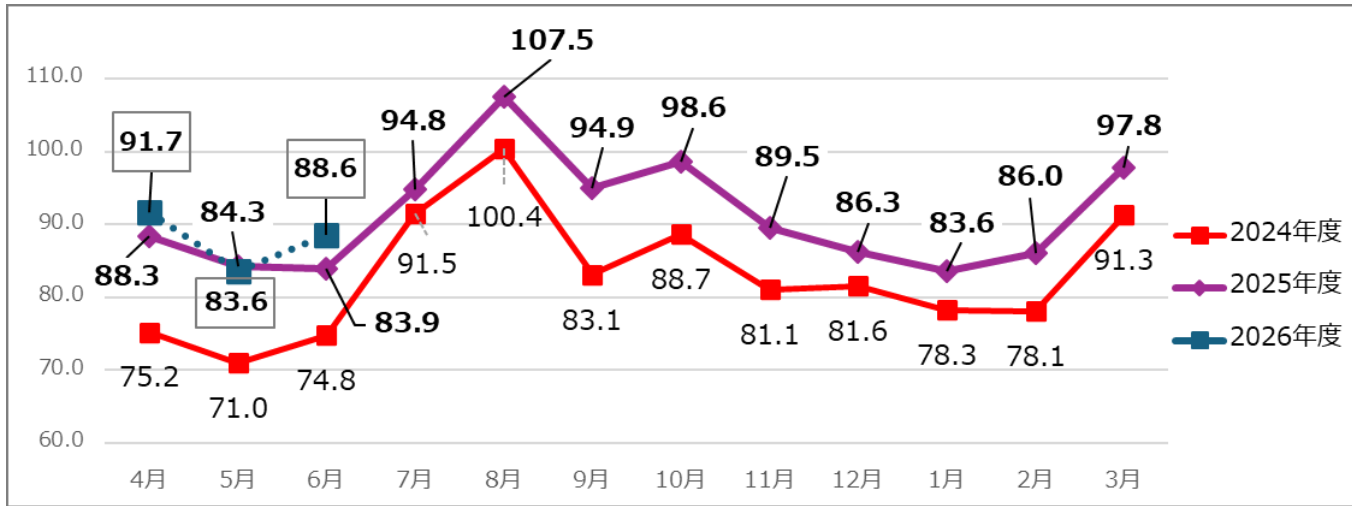
海外：乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの

※国内クルーズ⇒発地が国内 海外クルーズ⇒発地が海外

2. 入域観光客数概況グラフ

入域観光客 (合計)

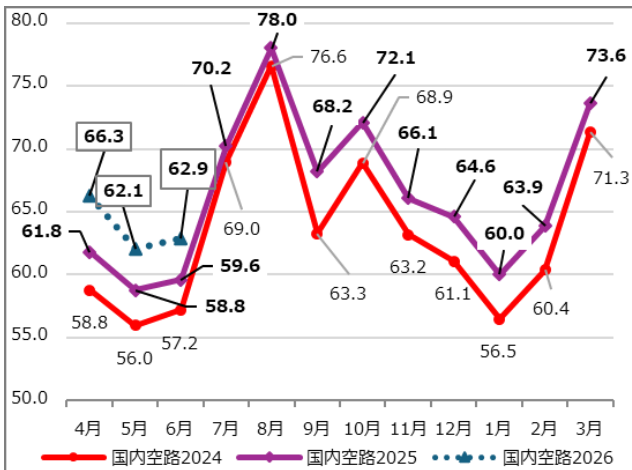
単位：万人



入域観光客 (空路)

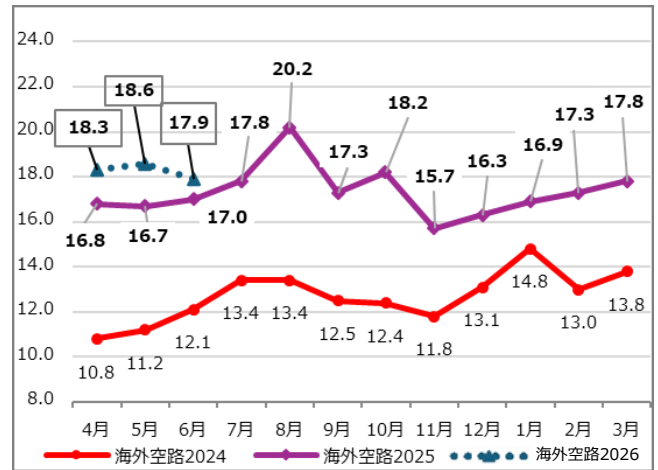
国内

単位：万人



海外

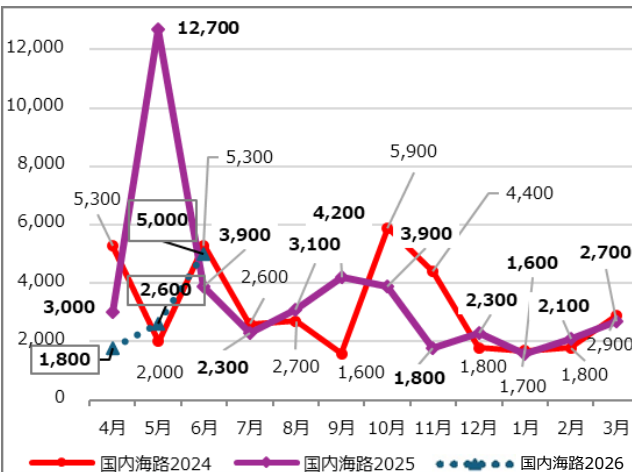
単位：万人



入域観光客 (海路)

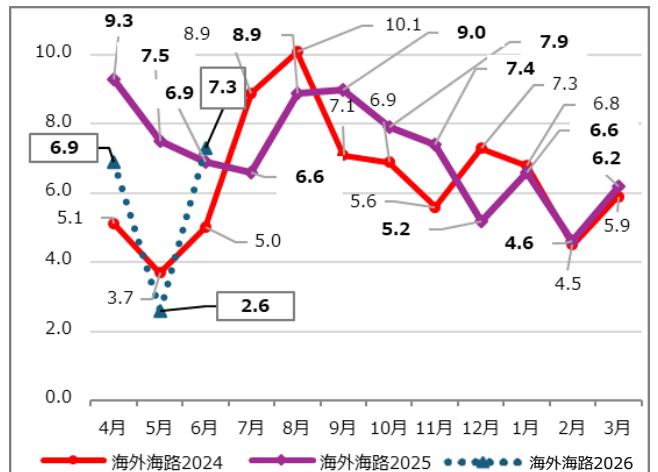
国内

単位：人



海外

単位：万人



3. 入域数/航路別入域実績 (25年度)

※「海外その他」には乗務員等を一括計上

	上期計				1月		2月		3月		下期計			年度計			
	入域数 (人)	入域数 シェア (%)	対前年 増減数 (人)	対前年 増減数 ランキン	入域数 (人)	対前年 増減数 (人)	入域数 (人)	対前年 増減数 (人)	入域数 (人)	対前年 増減数 (人)	入域数 (人)	入域数シェア (%)	対前年 増減数 (人)	入域数 (人)	入域数シェア (%)	対前年 増減数 (人)	対前年 増減数 ランキン
国内	24,800	0.4%	+200	16	4,100	0	3,800	△100	4,400	0	24,600	0.5%	△100	49,400	0.5%	+100	17
海外	25,700	0.5%	△900	25	4,600	△700	4,300	△1,200	5,000	△1,400	30,400	0.6%	△3,300	56,100	0.5%	△4,200	26
福島	0	0.0%	+0	18	200	100	0	0	0	0	800	0.0%	+300	800	0.0%	+300	15
新潟	4,700	0.1%	+800	15	600	△1,300	800	△1,600	300	△3,200	11,900	0.2%	△1,300	16,600	0.2%	△500	22
富山	100	0.0%	+100	17	100	100	0	△100	200	200	400	0.0%	+200	500	0.0%	+300	15
小松	19,000	0.3%	+1,700	9	2,600	0	3,100	100	4,000	200	20,400	0.4%	+700	39,400	0.4%	+2,400	11
東京	1,940,700	35.1%	+66,200	1	294,500	20,100	305,200	10,600	360,600	19,500	1,960,500	39.7%	+94,500	3,901,200	37.2%	+160,700	1
茨城	19,000	0.3%	△1,500	26	3,500	200	3,300	△200	3,700	0	21,100	0.4%	△500	40,100	0.4%	△2,000	24
静岡	17,400	0.3%	+7,600	6	2,700	600	3,300	500	4,000	500	20,500	0.4%	+3,700	37,900	0.4%	+11,300	5
名古屋	342,900	6.2%	+25,300	3	54,500	6,500	57,800	3,600	69,200	2,400	356,300	7.2%	+26,000	699,200	6.7%	+51,300	3
伊丹	282,400	5.1%	+21,700	4	41,000	2,900	41,600	3,100	49,900	3,400	268,000	5.4%	+16,500	550,400	5.3%	+38,200	4
関西	415,700	7.5%	+12,400	5	53,700	△1,100	56,700	△3,900	68,100	△5,500	363,600	7.4%	△14,200	779,300	7.4%	△1,800	23
神戸	172,400	3.1%	△700	24	25,300	1,700	27,200	1,400	30,800	900	168,300	3.4%	+6,500	340,700	3.3%	+5,800	6
岡山	23,400	0.4%	+1,000	12	3,200	100	3,500	△200	4,100	100	21,900	0.4%	+500	45,300	0.4%	+1,500	13
広島	26,200	0.5%	△400	23	4,100	△300	4,000	△1,400	5,100	△1,300	28,400	0.6%	△2,900	54,600	0.5%	△3,300	25
岩国	20,200	0.4%	+1,900	8	3,200	600	3,200	200	4,000	200	20,600	0.4%	+1,700	40,800	0.4%	+3,600	7
高松	24,300	0.4%	△4,900	27	3,600	△100	3,100	△600	4,000	△600	22,000	0.4%	△2,300	46,300	0.4%	△7,200	27
松山	19,600	0.4%	+1,200	10	3,300	400	3,200	200	4,000	200	20,900	0.4%	+1,700	40,500	0.4%	+2,900	9
高知	0	0.0%	+0	18	100	0	200	200	100	0	600	0.0%	+100	600	0.0%	+100	17
福岡	496,400	9.0%	+29,100	2	78,000	5,000	80,800	6,100	95,400	6,800	519,200	10.5%	+34,700	1,015,600	9.7%	+63,800	2
北九州	0	0.0%	+0	18	0	0	0	0	100	0	200	0.0%	+100	200	0.0%	+100	17
長崎	0	0.0%	+0	18	100	0	0	0	0	0	100	0.0%	+0	100	0.0%	+0	21
熊本	21,200	0.4%	+1,100	11	3,900	300	3,500	100	4,000	△400	22,300	0.5%	△100	43,500	0.4%	+1,000	14
大分	0	0.0%	+0	18	0	0	0	0	0	0	100	0.0%	+100	100	0.0%	+100	17
宮崎	18,700	0.3%	+1,000	12	3,200	0	3,300	0	3,800	300	20,700	0.4%	+1,000	39,400	0.4%	+2,000	12
鹿児島	72,700	1.3%	+2,100	7	10,800	△500	11,300	600	12,700	0	71,100	1.4%	+1,000	143,800	1.4%	+3,100	8
その他	6,700	0.1%	+1,000	12	500	0	300	△300	900	△100	4,300	0.1%	+1,600	11,000	0.1%	+2,600	10
国内計	3,994,200	72%	+166,000	+365	601,400	+34,600	+623,500	+17,100	738,400	22,200	3,999,200	80.9%	+166,200	7,993,400	76.3%	+332,200	-
台湾	652,300	11.8%	+154,300	-	92,500	+29,400	0	+0	0	+0	366,800	7.4%	+114,300	1,019,100	9.7%	+268,600	-
韓国	273,800	4.9%	+71,300	-	64,000	+3,500	0	+0	0	+0	223,700	4.5%	+43,100	497,500	4.7%	+114,400	-
中国本土	248,100	4.5%	+92,600	-	8,800	△32,700	0	+0	0	+0	91,200	1.8%	△36,500	339,300	3.2%	+56,100	-
香港	119,000	2.2%	+28,700	-	20,700	+5,200	0	+0	0	+0	75,200	1.5%	+9,000	194,200	1.9%	+37,700	-
アメリカ	23,300	0.4%	+5,200	-	2,900	△700	0	+0	0	+0	16,600	0.3%	△5,500	39,900	0.4%	△300	-
カナダ	5,100	0.1%	+1,000	-	1,200	+400	0	+0	0	+0	5,200	0.1%	△300	10,300	0.1%	+700	-
イギリス	5,400	0.1%	+1,000	-	1,000	+200	0	+0	0	+0	4,100	0.1%	+100	9,500	0.1%	+1,100	-
フランス	3,100	0.1%	+1,300	-	900	+700	0	+0	0	+0	3,500	0.1%	+2,200	6,600	0.1%	+3,500	-
タイ	10,300	0.2%	+1,400	-	2,100	+600	0	+0	0	+0	9,200	0.2%	+1,400	19,500	0.2%	+2,800	-
シンガポール	10,400	0.2%	+3,100	-	2,500	+600	0	+0	0	+0	9,000	0.2%	△1,600	19,400	0.2%	+1,500	-
マレーシア	4,700	0.1%	+1,100	-	1,300	+400	0	+0	0	+0	4,700	0.1%	+1,000	9,400	0.1%	+2,100	-
インドネシア	2,400	0.0%	+800	-	900	+300	0	+0	0	+0	2,300	0.0%	+400	4,700	0.0%	+1,200	-
オーストラリア	5,700	0.1%	+1,900	-	1,400	+400	0	+0	0	+0	4,700	0.1%	+400	10,400	0.1%	+2,300	-
その他※	176,600	3.2%	+43,900	-	34,400	+9,700	0	+0	0	+0	125,600	2.5%	+26,300	302,200	2.9%	+70,200	-
総計	5,534,400	172%	+573,600	-	836,000	+52,600	623,500	+17,100	738,400	+22,200	4,941,000	181%	+320,500	10,475,400	176%	+894,100	-

※その他には乗務員を含む

4. 入域数/エリア構成比 (25年度累計/同期比)

国内入域エリア別 (4月~3月)

	構成比	
	比率	前年差
東日本	51.9%	△0.3%
中部	8.9%	△0.2%
関西・中四国	23.7%	△0.3%
九州	15.5%	+0.8%

海外入域エリア別 (4月~1月)

	構成比	
	比率	前年差
台湾	41.1%	△0.7%
韓国	20.0%	△2.3%
中国本土	13.7%	+7.4%
香港	7.8%	△4.0%
海外その他	17.4%	△0.4%

4. 航空旅客輸送実績/需給バランス 沖縄向けの数値 (定期路線、下り便)

参考数値

● 月ごとの供給/需要/利用率

参考値
FSC・LCC内訳

		上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1-3月計	下期計	年度計			
													FSC	LCC
国内	提供座席	4,891,329	820,748	803,422	830,205	812,691	722,224	822,956	2,357,871	4,812,246	9,703,575			
	輸送実績	4,058,899	754,366	698,434	671,104	619,971	648,604	767,387	2,035,962	4,159,866	8,218,765	令和8年3月	635,700	100,000
	利用率	83.0	91.9	86.9	80.8	76.3	89.8	93.2	86.3	86.4	84.7	令和7年3月	609,200	103,300
海外	提供座席	1,223,681	216,103	188,683	192,147	195,989	191,992	194,069	582,050	1,178,983	2,402,664	増減数	+26,500	△3,300
	輸送実績	1,006,974	178,362	156,521	167,603	173,904	171,924	170,968	516,796	1,019,282	2,026,256	前年同月比	104.3%	96.8%
	利用率	82.3	82.5	83.0	87.2	88.7	89.5	88.1	88.8	86.5	84.3	FSC・LCC比率	86.4%	13.6%
合計	輸送実績	6,115,010	1,036,851	992,105	1,022,352	1,008,680	914,216	1,017,025	2,939,921	5,991,229	12,106,239			
	利用率	5,065,873	932,728	854,955	838,707	793,785	820,528	938,355	2,552,758	5,179,148	10,245,021			
	利用率	82.8	90.0	86.2	82.0	78.7	89.8	92.3	86.8	86.4	84.6			

参考数値

● 路線別の供給/需要/利用率 (国内累計)

概況について ※一部実績が含まれていないため、参考としてください。
 ○ 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を上回る
 △ 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を下回る(±0~▲%)
 × 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を下回る(▲5%以上)

国内		輸送実績(需要)				提供座席(供給)				利用率			需給	概況
発地	着地	2025年度 累計	2024年度 同期累計	同期比		2025年度 累計	2024年度 同期累計	同期比		2025年度 累計	2024年度 同期累計	増減	前年比 差異	
				前年比	増減			前年比	増減					
札幌	那覇	0	0		+0	0	0		+0	-				○
仙台	那覇	66,871	72,544	92.2%	△5,673	75,020	95,742	78.4%	△20,722	89%	76%	+13%	+14%	○
新潟	那覇	20,173	20,644	97.7%	△471	27,556	34,694	79.4%	△7,138	73%	60%	+14%	+18%	○
小松	那覇	47,062	44,354	106.1%	+2,708	59,895	59,730	100.3%	+165	79%	74%	+4%	+6%	○
茨城	那覇	48,828	51,283	95.2%	△2,455	64,428	64,428	100.0%	+0	76%	80%	△4%	△5%	△
羽田	那覇	3,527,113	3,382,684	104.3%	+144,429	4,073,108	4,011,952	101.5%	+61,156	87%	84%	+2%	+3%	○
羽田	宮古	273,368	254,287	107.5%	+19,081	303,648	291,844	104.0%	+11,804	90%	87%	+3%	+3%	○
羽田	石垣	369,996	341,183	108.4%	+28,813	413,503	397,455	104.0%	+16,048	89%	86%	+4%	+4%	○
羽田	久米島	5,773	6,278	92.0%	△505	7,095	8,085	87.8%	△990	81%	78%	+4%	+4%	○
羽田	下地島	53,887	55,011	98.0%	△1,124	64,605	64,074	100.8%	+531	83%	86%	△2%	△3%	△
静岡	那覇	45,577	31,865	143.0%	+13,712	60,581	47,142	128.5%	+13,439	75%	68%	+8%	+15%	○
東日本エリア計		4,458,648	4,260,133	104.7%	+198,515	5,149,439	5,075,146	101.5%	+74,293	87%	84%	+3%	+3%	○
名古屋	那覇	581,035	554,878	104.7%	+26,157	719,335	679,792	105.8%	+39,543	81%	82%	△1%	△1%	△
名古屋	宮古	56,358	62,663	89.9%	△6,305	63,674	75,933	83.9%	△12,259	89%	83%	+6%	+6%	○
名古屋	石垣	56,222	60,470	93.0%	△4,248	63,778	75,913	84.0%	△12,135	88%	80%	+8%	+9%	○
中部エリア計		693,615	678,011	102.3%	+15,604	846,787	831,638	101.8%	+15,149	82%	82%	+0%	+0%	○
伊丹	那覇	659,637	615,165	107.2%	+44,472	732,071	734,305	99.7%	△2,234	90%	84%	+6%	+8%	○
伊丹	宮古	0	0		+0	0	0		+0	-				-
伊丹	石垣	5,643	6,553	86.1%	△910	6,372	8,300	76.8%	△1,928	89%	79%	+10%	+9%	○
関西	那覇	308,968	309,122	100.0%	△154	378,102	414,392	91.2%	△36,290	82%	75%	+7%	+9%	○
関西	宮古	103,419	106,097	97.5%	△2,678	125,177	135,756	92.2%	△10,579	83%	78%	+4%	+5%	○
関西	石垣	104,881	92,161	113.8%	+12,720	124,100	113,927	108.9%	+10,173	85%	81%	+4%	+5%	○
神戸	那覇	363,220	354,517	102.5%	+8,703	454,983	457,181	99.5%	△2,198	80%	78%	+2%	+3%	○
神戸	下地島	49,828	51,392	97.0%	△1,564	64,605	64,251	100.6%	+354	77%	80%	△3%	△4%	△
岡山	那覇	54,871	52,976	103.6%	+1,895	62,040	61,875	100.3%	+165	88%	86%	+3%	+3%	○
広島	那覇	65,877	69,472	94.8%	△3,595	74,804	84,018	89.0%	△9,214	88%	83%	+5%	+6%	○
岩国	那覇	49,260	45,195	109.0%	+4,065	60,494	60,257	100.4%	+237	81%	75%	+6%	+9%	○
高松	那覇	55,559	64,059	86.7%	△8,500	64,626	87,634	73.7%	△23,008	86%	73%	+13%	+13%	○
松山	那覇	49,084	45,621	107.6%	+3,463	59,878	60,252	99.4%	△374	82%	76%	+6%	+8%	○
関西・中四国エリア計		1,870,247	1,812,330	103.2%	+57,917	2,207,252	2,282,148	96.7%	△74,896	85%	79%	+5%	+6%	○
福岡	那覇	938,047	865,475	108.4%	+72,572	1,175,986	1,177,626	99.9%	△1,640	80%	73%	+6%	+9%	○
熊本	那覇	52,098	50,479	103.2%	+1,619	60,584	60,087	100.8%	+497	86%	84%	+2%	+2%	○
宮崎	那覇	47,887	45,410	105.5%	+2,477	63,402	62,710	101.1%	+692	76%	72%	+3%	+4%	○
鹿児島	那覇	99,276	93,573	106.1%	+5,703	126,438	126,252	100.1%	+186	79%	74%	+4%	+6%	○
与論	那覇	32,064	32,996	97.2%	△932	38,340	39,484	97.1%	△1,144	84%	84%	+0%	+0%	○
沖永良部	那覇	12,955	13,254	97.7%	△299	16,992	17,062	99.6%	△70	76%	78%	△1%	△2%	△
九州エリア計		1,182,327	1,102,224	107.3%	+80,103	1,481,742	1,484,915	99.8%	△3,173	80%	74%	+6%	+7%	○
国内/合計		8,204,837	7,852,698	104.5%	+352,139	9,685,220	9,673,847	100.1%	+11,373	85%	81%	+4%	+4%	○

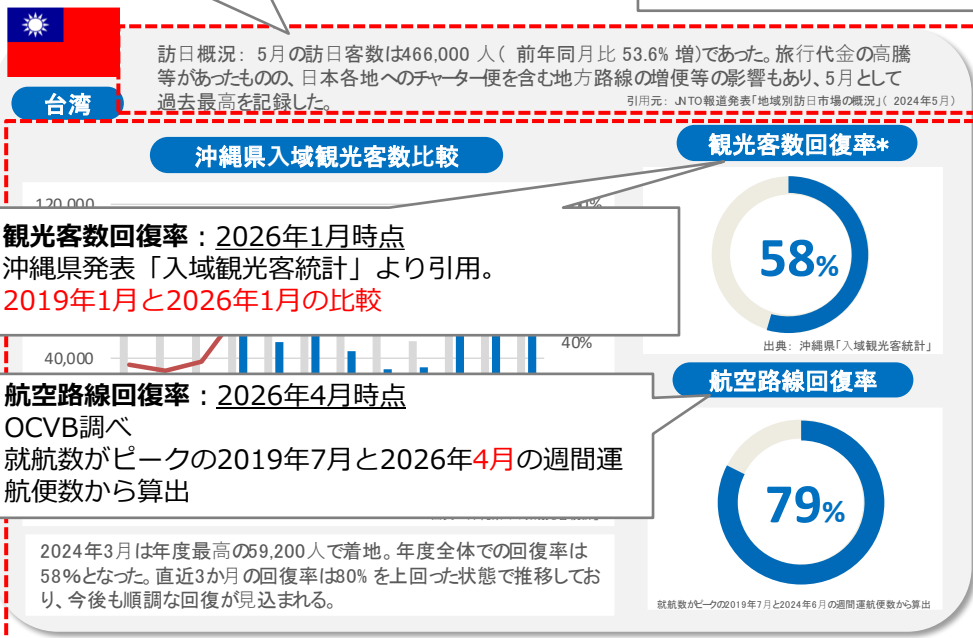
● 空港別の外国人入国者数(那覇/石垣/下地島) 出入国管理統計より引用

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
那覇	159,554	157,443	159,014	166,181	186,813	160,148	170,454	151,746	157,000	162,659	163,766	0	1,794,778	94.4%
石垣	5,418	5,711	6,869	6,925	9,622	6,863	6,007	2,452	2,845	3,031	4,697	0	60,440	3.2%
下地島	3,067	3,647	4,016	4,471	5,717	6,179	5,027	2,868	2,808	3,166	4,370	0	45,336	2.4%
合計	168,039	166,801	169,899	177,577	202,152	173,190	181,488	157,066	162,653	168,856	172,833	0%	1,900,554	100.0%

市場別概況の表の見方

訪日概況：2026年3月時点
JNTO報道発表
「地域別訪日市場の概況」より引用。

沖縄県入域観光客数概況：2026年1月時点
沖縄県発表「入域観光客統計」より引用。
※法務省出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、3か月後の同庁の公表後に確定版として公表。



市場別概況

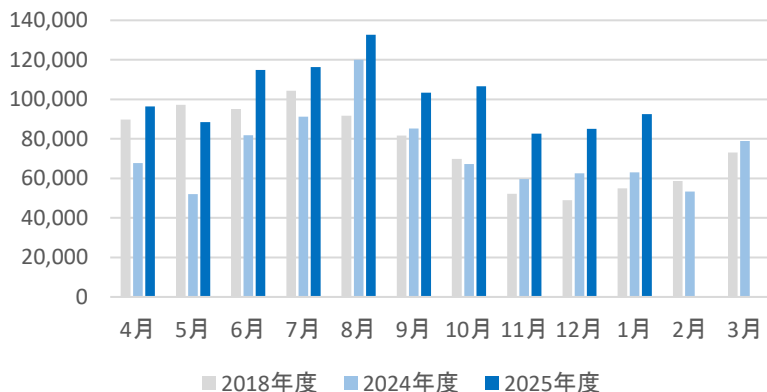


訪日概況：3月の訪日客数は、653,300人（前年同月比24.9%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、台中～熊本間の新規就航、台北桃園～青森間の増便やスポーツイベントが日本で開催されたことの影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年3月）

台湾

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率

168%

*観光客数回復率は2019年1月と2026年1月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率

135%

就航数がピークの2019年7月と2026年4月の週間運航便数から算出

訪沖概況：2026年1月は対前年同月比147%、29,400人増となる**92,500人**の訪沖者数となった。3月末～4月にかけて新規就航及び増便もあり今後も堅調な推移が見込まれる。

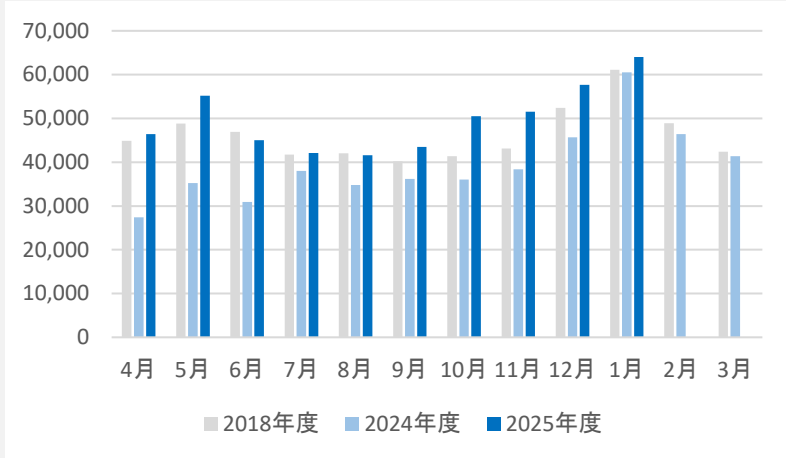


韓国

訪日概況：3月の訪日客数は、795,600人（前年同月比 15.0%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、釜山～静岡間の新規就航、仁川～成田間の増便の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年3月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2026年1月は、対前年同月比106%、3,500人増となる**64,000人**の訪沖者数となった。3月末～4月にかけて新規就航及び増便もあり今後も堅調な推移が見込まれる。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2019年1月と2026年1月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2026年3月の週間運航便数から算出

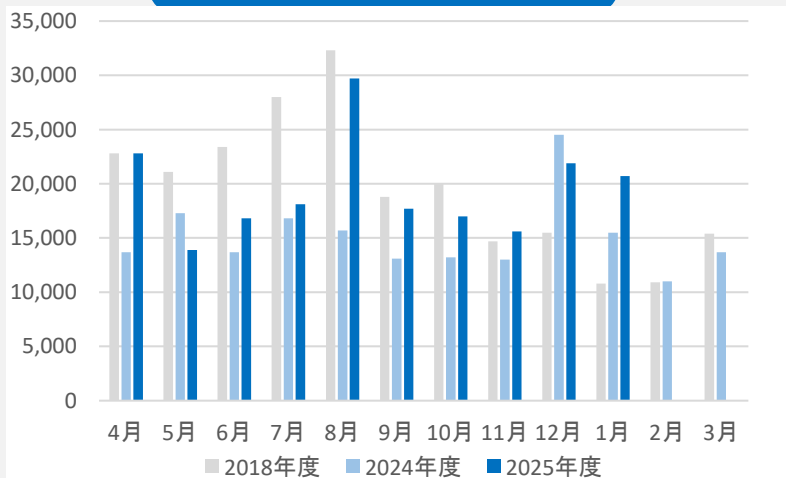


香港

訪日概況：3月の訪日客数は、216,300人（前年同月比 3.8%増）であった。イースター休暇の期ずれに伴うスクールホリデーに合わせた3月下旬からの訪日需要の高まりの影響等もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年3月）

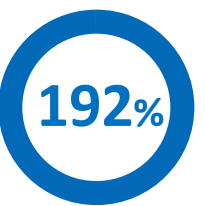
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

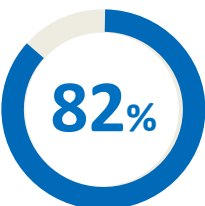
訪沖概況：2026年1月は、対前年同月比134%、5,200人増となる**20,700人**の訪沖者数となった。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2019年1月と2026年1月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2026年4月の週間運航便数から算出

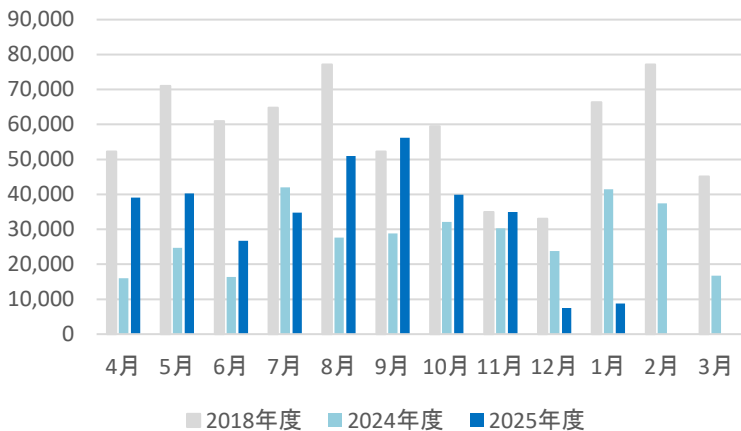


中国

訪日概況：3月の訪日客数は、291,600人（前年同月比 55.9%減）であった。訪日需要
が落ち着く時期であることに加え、中国政府より日本への渡航を避けるよう注意喚起が
あった。航空便の減便の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年3月）

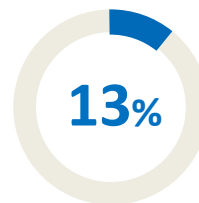
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

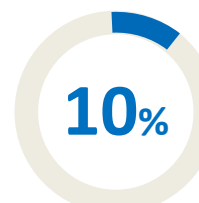
訪沖概況：2026年1月は対前年同月比21%、32,700人減となる
8,800人の訪沖者数となった。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2019年1月と2026年1月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と
2026年4月の週間運航便数から算出

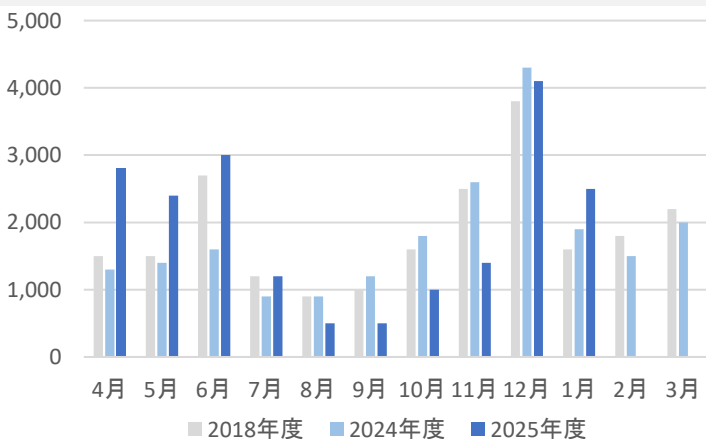


シンガポール

訪日概況：3月の訪日客数は、71,000人（前年同月比8.7%増）であった。訪中旅
行の継続的な人気の影響等があるものの、スクールホリデーや祝日、シンガポール
～羽田間の増便の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年3月）

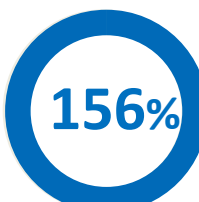
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2026年1月は対前年同月比132%、600人増となる
2,500人の訪沖者数となった。2025年12月中旬からの直行便
再開が入域増の要因と考えられる。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2019年1月と2026年1月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と
2026年4月の週間運航便数から算出

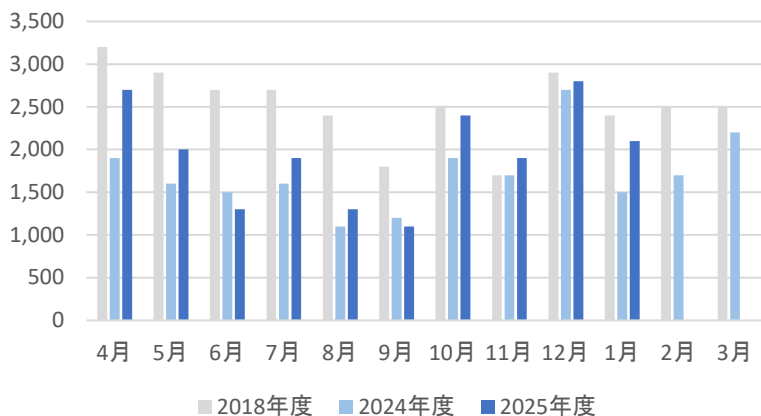
5. エリア概況（海外）タイ・マレーシア

タイ

訪日概況：3月の訪日客数は、160,900人（前年同月比8.6%増）であった。経済の不透明感による海外旅行需要の低迷の影響等があるものの、2025年12月のバンコク～仙台間の復便や、バンコク～成田間、バンコク～関西間の増便、祝日の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年3月）

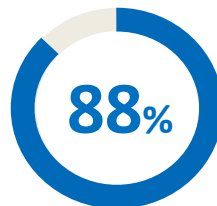
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

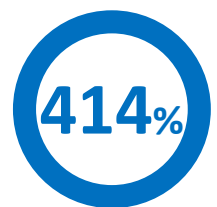
訪沖概況：2026年1月は対前年同月比140%、600人増となる**2,100人**の訪沖者数となった。一方、5月7日よりドンムアン-香港-那覇便が運休予定のため今後の影響が懸念される。

観光客数回復率

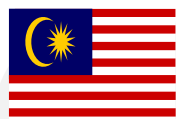


*観光客数回復率は2019年1月と2026年1月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2026年4月の週間運航便数から算出

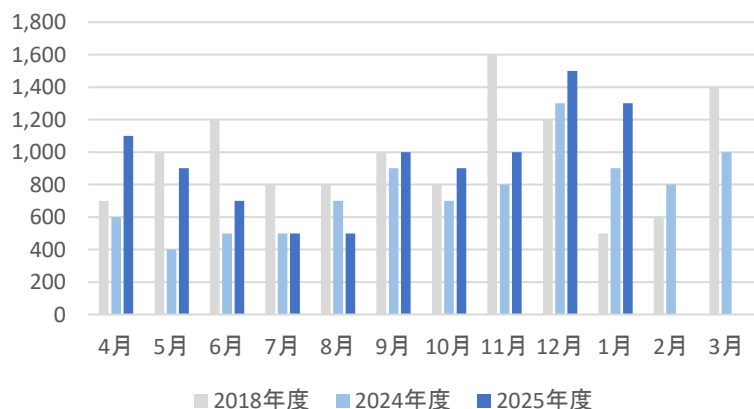


マレーシア

訪日概況：3月の訪日客数は、76,600人（前年同月比44.2%増）であった。訪中旅行の継続的な人気の影響等があるものの、イスラム教の断食明け休暇やスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年3月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2026年1月は対前年同月比144%、400人増となる**1,300人**の訪沖者数となった。一方、6月1日よりクアラルンプール-台北-那覇経由便が運休予定のため今後の影響が懸念される。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2019年1月と2026年1月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月は就航がなかったため2026年4月の週間運航便数は2便増としています

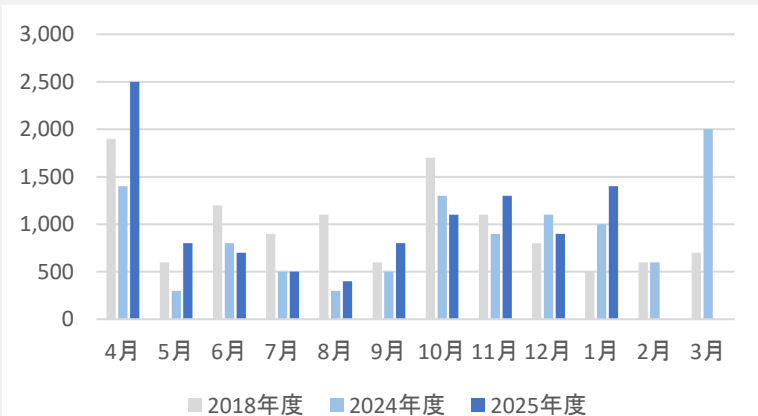


オーストラリア

訪日概況：3月の訪日客数は、96,900人（前年同月比 14.3%増）であった。イースターの期ずれに伴うスクールホリデーに合わせた3月下旬からの訪日需要の高まりや継続する訪日旅行人気の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。

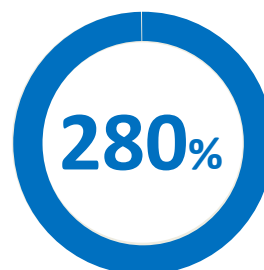
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年3月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率



*観光客数回復率は2019年1月と2026年1月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2026年1月は対前年同月比140%、400人増となる**1,400人**の訪沖者数となった。

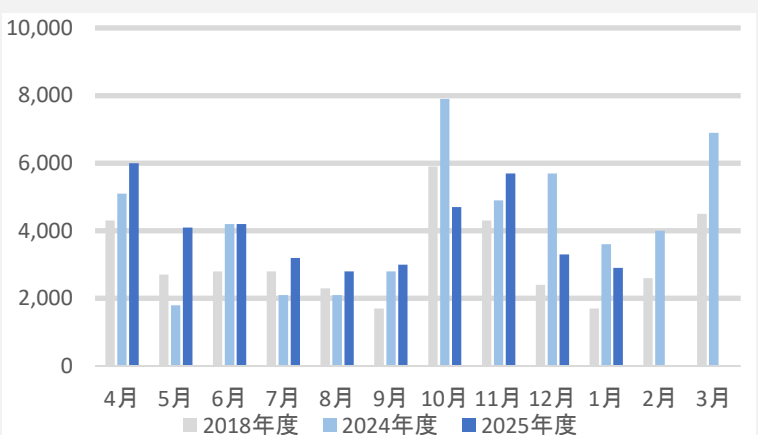


アメリカ

訪日概況：3月の訪日客数は、375,900人（前年同月比 9.7%増）であった。3月中旬から始まったスクールホリデーに加え、継続する訪日旅行人気の影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。

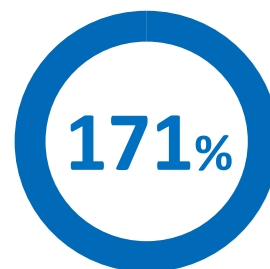
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年3月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率



*観光客数回復率は2019年1月と2026年1月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2026年1月は対前年同月比81%、700人減となる**2,900人**の訪沖者数となった。

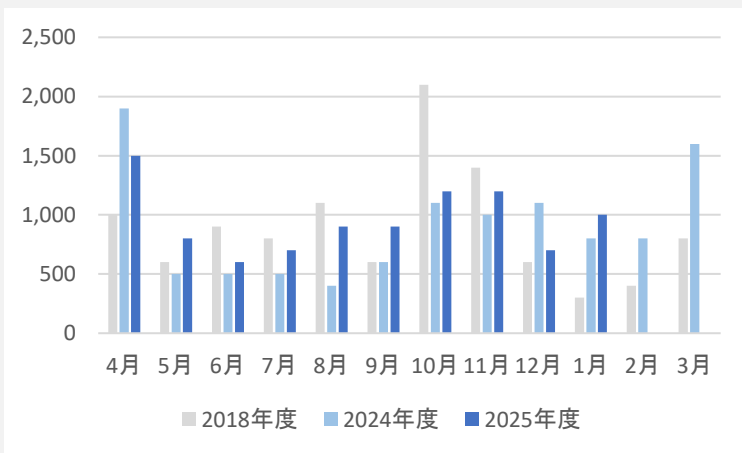


イギリス(本国)

訪日概況：3月の訪日客数は、70,200人（前年同月比 20.7%増）であった。イースターの期ずれに伴うスクールホリデーに合わせた3月下旬からの訪日需要の高まりに加え、継続する訪日旅行人気が影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。

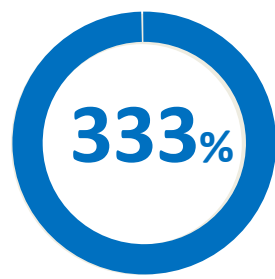
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年3月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率



*観光客数回復率は2019年1月と2026年1月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2026年1月は対前年同月比125%、200人増となる**1,000人**の訪沖者数となった。

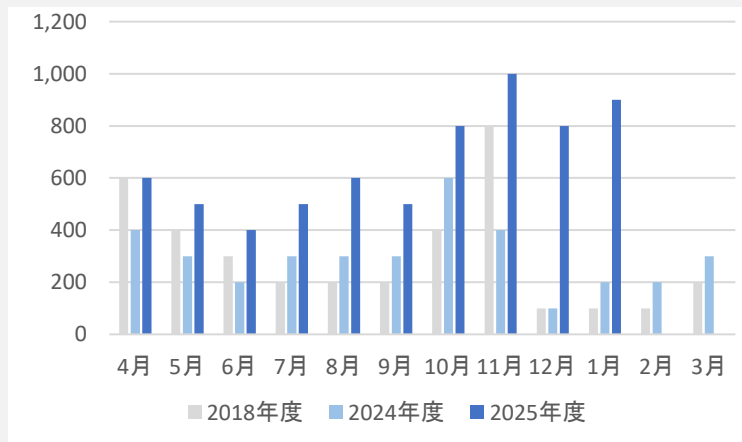


フランス

訪日概況：3月の訪日客数は、40,300人（前年同月比 10.5%増）であった。継続する訪日旅行人気が加え、若年層を中心とした訪日需要の高まりやクルーズ船の寄港の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年3月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率



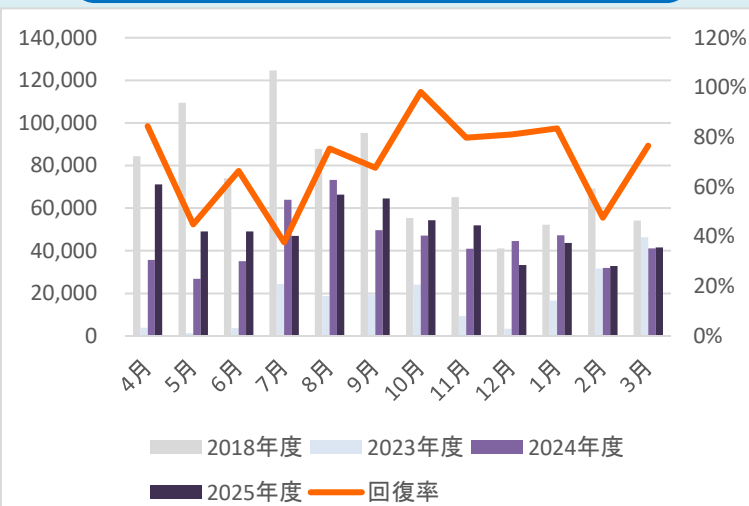
*観光客数回復率は2019年1月と2026年1月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2026年1月 は対前年同月比450%、700人増となる**900人**の訪沖者数となった。
1月の単月としては過去最高の記録となった。

クルーズ市場概況

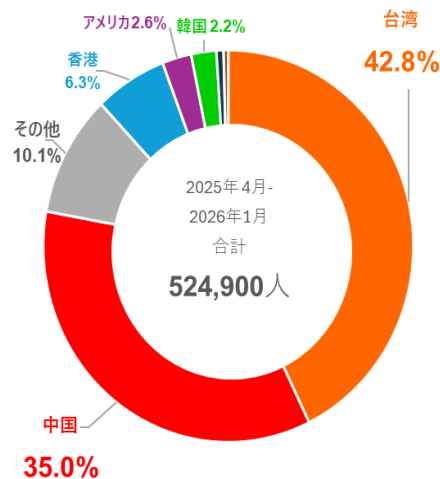
令和8年3月の海路の外国人入域客数（乗務員を除く）は41,500人となり、前月（令和8年1月）と比べ約8,600人増加した。一方、市場別では中国からの寄港船の減少が主な要因となり、中国人クルーズ客はピーク時（2018年）と比べ約半分の数値となっているため、引き続き注視する必要がある。今後は好調に推移している台湾・韓国市場の機運醸成のほか、欧米諸国からの乗船が比較的多い香港発のクルーズ船等の誘致も図るものとした。

クルーズ（外国客、海路） | 入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

国籍内訳



*外国人入域観光客数（海路）*乗務員除く

2018年度(ピーク時)の同期と比較

国籍	台湾	韓国	中国	香港
比較率	102%	311%	52%	97%

X（旧Twitter）にてクルーズ船の寄港情報を事前に発信

（一財）沖縄観光コンベンションビューローのクルーズ船公式アカウント。沖縄に寄港するクルーズ船の寄港情報を事前に地域の住民・事業者の皆様向けに発信します。クルーズ船寄港時のタクシー配車、店頭での販売強化など皆様のお役に立てば幸いです。以下のアカウント名より検索してフォローをお願いします。

アカウント名：【公式】沖縄クルーズ船寄港情報
プロフィール URL：
<https://twitter.com/OkinawaCruise>



クルーズ船寄港情報

- 那覇港：<https://nahaport.jp/users/kyakusen/>
- 石垣港：<https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/kowan/kuruzusen/370.html>
- 平良港：<https://www.city.miyakojima.lg.jp/soshiki/shityo/kensetsu/kouwan/>
- 本部港：<https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowankuko/1013146/1022459/1022074.html>
- 中城湾港：<https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowankuko/1013146/1022455/1013162.html>



事業名	事業の内容	対象業界	公式HP	担当部署
1 令和8年度奨学金代理返還支援事業	<p>県内中小企業の人材確保・定着を支援するため、企業が従業員に対して行う奨学金代理返還支援に対し、企業が負担する経費の一部を補助する。</p> <p>【対象企業】 1.沖縄県内に本社のある中小企業 2.従業員に対する奨学金返還支援制度を有していること ※その他条件についてはHPをご覧ください。</p> <p>【対象期間】 令和8年4月～令和9年3月</p> <p>【申請期間】 令和8年4月～令和9年2月26日（申請日の属する月以降に行った給付が補助対象）</p>	<p>全事業者 ※沖縄県内に本社のある中小企業</p>	<p>https://www.pref.okinawa.lg.jp/shigoto/keizai/1009879/1010143/1010156.html</p>	
2 令和8年度外国人材受入支援事業	<p>外国人材を受け入れたい企業を対象に、①相談窓口の設置、②セミナー、③マッチングイベントを実施する。</p> <p>【①相談窓口】 外国人雇用に関する悩み、企業の課題整理、解決策のアドバイス、また、必要に応じて行政書士等の専門家を派遣し、対面相談による複数回の伴走支援、企業の魅力発信を目的としたインターンシッププログラムの作成支援等を実施。</p> <p>【②セミナーの開催】 在留資格の制度概要、外国人材採用のポイントや流れ等について、企業、外国人留学生、県内の外国人労働者向けにセミナーを実施。</p> <p>【③マッチングイベント】 県内の大学・専門学校・日本語学校等の留学生が県内企業とマッチングできるよう、合同企業説明会（マッチングイベント）を開催。 ※詳しくは事業HPをご覧ください。</p>	<p>全事業者</p>	<p>https://www.yuiyui-gaikokujinzai.com/</p>	
3 令和8年度沖縄県所得向上応援企業支援事業	<p>稼いだ企業所得を従業員に適切に分配し、給与向上や正規雇用化に取り組む企業を認証する制度。これまで184社を認証。</p> <p>【対象条件】 沖縄県内での事業実績が1年以上ある法人又は個人事業者</p> <p>【認証基準】 ①給与支給総額の伸び率、②給与平均額、③時給増加額、④財務情報の開示、⑤正規雇用、男女雇用比率の開示</p> <p>【インセンティブ】 ①認証企業の広報PR（うまんちゅ広場やHP、認証式等） ②奨学金返還支援事業の補助額拡充 ③補助事業採択審査及び業務委託企画選定審査における加算 ④公庫金利優遇 ⑤認証企業が集まる交流会への参加 等</p> <p>【申請期間】 通年</p>	<p>全事業者</p>	<p>https://www.shotokukoj.o.okinawa/</p>	<p>商工労働部 雇用政策課 Tel. 098-866-2324</p>
令和8年度UIターン就職・転職・採用活動交通費支援事業（個人向け：ちゅらターン交通費補助金、企業向け：かりゆしビズターン交通費補助金）	<p>県外在住者の県内就職を促進するため、県内での就職・転職活動に係る交通費等の一部を補助する。 また、県内企業等が負担した県外在住応募者の採用活動に係る交通費等の一部を補助する。</p> <p>【対象者】45歳未満の県外在住者、又は、県内企業等</p> <p>【対象活動】①企業説明会、②インターンシップ、③採用面接、④移転</p> <p>【対象経費】1.交通費 2.宿泊費 3.移転費</p> <p>【補助額】対象経費×1/2 （個人：上限5万円/回、年度内3回まで申請可） （企業：採用人数1人以下上限15万円 採用人数2人以上採用人数×15万円）</p> <p>【申請方法】電子申請</p> <p>【申請期間】個人：活動の翌月10日（3月のみ3/31）までに申請 企業：年3回申請期限あり（7/31、11/30、3/31） ※UIターン就職相談マッチングサイト「りっか沖縄」への登録必須</p>	<p>公務員を除くすべての業種</p>	<p>https://www.pref.okinawa.lg.jp/shigoto/koyorodo/1012003/1012013/1012016.html</p>	

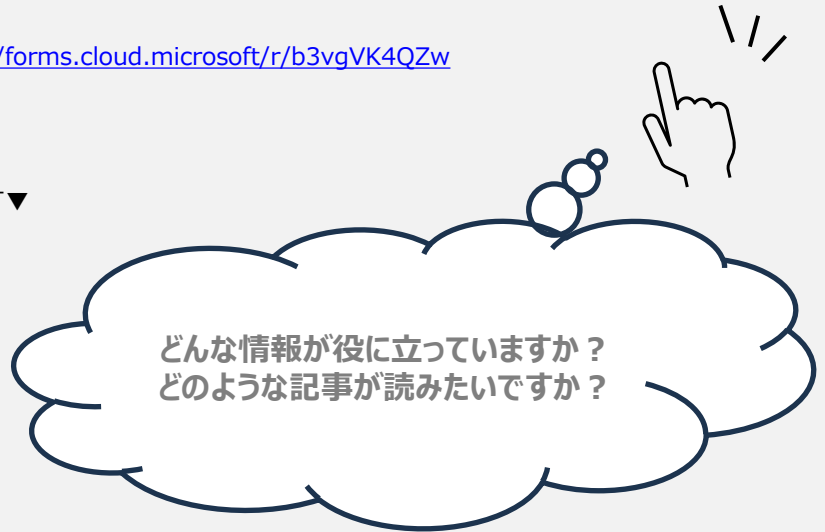
読者アンケート調査

最後までお読みいただき、ありがとうございます。OCVBではこれからも事業者の皆さまの役に立つ情報を発信し続けてまいります。ぜひ、皆さまのお声をお聞かせくださいませ。

＼より良いOCVB newsを作っていくため、読者アンケートにご協力をお願いいたします。／

<https://forms.cloud.microsoft/r/b3vgVK4QZw>

▼こちらのQRコードからも回答いただけます▼



【読者アンケート調査】

※ご注意ください※本フォームへのご質問には回答できかねます。